

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

コード番号 9959 URL <http://www.aseed-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺地 實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務グループ担当

(氏名) 橋本 義徳

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 084-941-3311

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,796	14.0	334	45.9	336	53.6	219	132.8
21年3月期第2四半期	13,857	—	229	—	218	—	94	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	34.14	—
21年3月期第2四半期	14.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	13,401	3,586	26.8	559.55
21年3月期	13,130	3,437	26.2	533.13

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,586百万円 21年3月期 3,437百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	27,000	2.2	460	35.2	420	34.4	200	—	31.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	6,747,624株	21年3月期	6,747,624株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	338,364株	21年3月期	300,764株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	6,433,310株	21年3月期第2四半期	6,446,963株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及びデータで作成しており、将来に関する前提・見通し・仮定に基づく予測が含まれております。実際の業績は、予想に内在する様々な不確定要因や、事業運営における状況変化等によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、世界的な金融危機による景気後退局面から、輸出産業や製造業の一部において景気の底打ち感が見られる一方、雇用環境の悪化や個人消費が引き続き低迷する等、実体経済は依然として厳しい状況で推移いたしました。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数のオーバーストア状態が続くなか、同業者間における取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下等により、業界再編が継続しております。

このような状況のなか、当社グループは2012年3月期を達成年度とする、中期経営計画「ビジョン ACT12」において策定したアクションプランを着実に推進するとともに、各事業のオペレーションコストの削減と収益基盤の強化に取り組みました。

この結果、第2四半期連結売上高は15,796百万円（前期比14.0%増）、営業利益は334百万円（前期比45.9%増）、経常利益は336百万円（前期比53.6%増）、四半期純利益は219百万円（前期比132.8%増）と大幅な増収増益になりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りであります。

（1）自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター及び清涼飲料業界は昨年秋以降の景気悪化がもたらした雇用環境の悪化や個人消費の低迷に加え、飲料の最需要期となる7月－9月にかけて長雨、低温、日照不足などの天候不順に見舞われ、個人消費が一段と冷え込む厳しい事業環境となりました。このような状況のなか、収益構造改革を目的とした低収益自販機のスクラップ・アンド・ビルドを進めるとともに、過剰設置による環境問題の解消と利便性ニーズに対応し、良質の商品を提供する「フルライン自販機」を重点的に設置いたしました。なお、消費者マインドは依然として厳しく、当面は消費低迷が続くことが見込まれるため、更なる原価低減や運営コストの削減に取り組み、収益性の向上と事業の高付加価値化を図ってまいります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は11,703百万円（前期比1.1%減）、営業利益は266百万円（前期比20.6%減）となりました。

（2）飲料製造事業

飲料製造事業につきましては、小売業等のプライベートブランド（PB＝自主企画）商品市場をターゲットに、商社やブランドオーナー等の多様なニーズに対応した、清涼飲料と低アルコール飲料（チューハイ・リキュール）の企画・提案を強化して製造数量の増大を図りました。特に低アルコール飲料（チューハイ・リキュール）は、味・品質・価格・デザイン性において高い評価を受け、前期比2倍強の増産となりました。また、酒類製造部門におきましては、本格芋焼酎「帝王」や本格麦焼酎「いろは丸」のブランド育成に注力するとともに、「くわい」や「じゃがいも」など地域の特産品を原材料とした焼酎・リキュール製品の開発と販売に取り組みました。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,951百万円（前期比114.0%増）、営業利益163百万円（前期比1,102.6%増）となり大幅な増収・増益となりました。

（3）飲料カードシステム事業

自販機のソフト化によるサービス価値を高め、パチンコホールのお客様に対して、カップ飲料自販機の利便性を向上させた「アオズ・カードシステム」につきましては、店舗の広告宣伝メッセージを刷り込める新カードを発売し、業界最大手法人や地域有力法人において採用・導入が進みました。なお業務の効率化のため、従来はグループ会社へ販売していた自販機と飲料カード管理機器を、各グループ会社が直接機械メーカーから調達する取引方法に変更したことにより、これにかかる売上高は減少いたしました。

この結果、飲料カードシステム事業の売上高は80百万円（前期比33.7%減）、営業利益15百万円（前期比21.3%増）となりました。

（4）不動産運用事業

広島県福山市内の賃貸駐車場、山口県周南市及び広島市西区内の賃貸事務所兼倉庫、佐賀県佐賀市内の貸店舗等に加え、広島県福山市の賃貸収益ビルの稼働により、不動産運用事業による売上高は60百万円（前期比7.5%増）、営業利益は57百万円（前期比33.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の連結総資産合計は、前連結会計年度末と比較して270百万円増加し、13,401百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金の減少194百万円及び飲料製造事業の大幅な売上増加による売掛金の増加247百万円によるもので、前連結会計年度末と比較して61百万円の増加となりました。

固定資産は、リース資産の増加149百万円及び貸倒引当金の増加65百万円等があり、固定資産合計は前連結会計年度末と比較して209百万円の増加となりました。

負債合計は前連結会計年度末と比較して121百万円増加し、9,814百万円となりました。これは、主に飲料製造事業の大幅な売上増加に伴う買掛金の増加331百万円、リース債務の増加98百万円によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比較して270百万円増加し、3,586百万円となりました。これは、主に四半期純利益による増加219百万円、剰余金の配当による減少51百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、売上高は引き続き堅調に推移すると考えられるものの、個人消費の動向に依然として不透明感があることに加え、下期における天候リスク（暖冬・長雨・積雪）等を慎重に勘案し、平成21年5月8日公表の連結業績予想には変更ありません。なお、今後の経営環境等の状況を鑑みて、業績予想に変更がある場合は速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,081,285	1,275,692
受取手形及び売掛金	1,594,493	1,346,704
商品及び製品	1,020,614	1,002,282
仕掛品	369	311
原材料及び貯蔵品	121,535	91,684
前払費用	1,019,123	1,119,989
繰延税金資産	65,547	79,980
その他	606,933	529,902
貸倒引当金	△7,063	△5,040
流動資産合計	5,502,838	5,441,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	755,731	770,960
機械装置及び運搬具(純額)	126,934	120,393
工具、器具及び備品(純額)	29,428	18,712
土地	3,488,953	3,454,564
リース資産(純額)	437,988	295,932
有形固定資産合計	4,839,035	4,660,563
無形固定資産		
のれん	737,516	747,274
リース資産	21,011	13,527
その他	20,013	20,224
無形固定資産合計	778,541	781,026
投資その他の資産		
投資有価証券	380,956	363,526
長期貸付金	28,325	29,106
長期前払費用	1,110,647	1,140,245
繰延税金資産	372,846	351,090
その他	493,905	403,796
貸倒引当金	△105,887	△40,217
投資その他の資産合計	2,280,794	2,247,548
固定資産合計	7,898,371	7,689,138
資産合計	13,401,210	13,130,645

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	2,698,541	2,367,499
短期借入金	1,305,000	1,940,000
1年内返済予定の長期借入金	1,287,868	1,486,534
リース債務	162,938	100,313
未払金	757,323	835,136
未払法人税等	116,154	47,693
未払消費税等	80,785	59,887
繰延税金負債	100	95
賞与引当金	96,560	94,096
その他	658,082	674,266
流動負債合計	7,163,355	7,605,522
固定負債		
長期借入金	1,886,027	1,403,320
リース債務	327,303	229,237
再評価に係る繰延税金負債	47,569	47,569
退職給付引当金	69,180	69,701
役員退職慰労引当金	112,687	108,577
その他	208,760	229,696
固定負債合計	2,651,527	2,088,102
負債合計	9,814,882	9,693,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	976,192	976,192
利益剰余金	3,612,271	3,444,242
自己株式	△203,388	△177,757
株主資本合計	5,183,548	5,041,149
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△38,503	△44,404
土地再評価差額金	△1,557,814	△1,557,814
為替換算調整勘定	△903	△1,909
評価・換算差額等合計	△1,597,220	△1,604,128
純資産合計	3,586,327	3,437,020
負債純資産合計	13,401,210	13,130,645

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	13,857,565	15,796,828
売上原価	8,062,993	9,748,589
売上総利益	5,794,571	6,048,239
販売費及び一般管理費	5,565,254	5,713,593
営業利益	229,317	334,646
営業外収益		
受取利息	2,311	1,704
受取配当金	2,617	2,445
不動産賃貸料	5,498	5,905
受取賃貸料	12,154	11,833
違約金収入	5,000	2,515
受取補償金	—	10,759
その他	16,057	17,523
営業外収益合計	43,639	52,686
営業外費用		
支払利息	42,068	41,136
のれん償却額	282	73
その他	11,852	10,065
営業外費用合計	54,203	51,276
経常利益	218,753	336,056
特別利益		
固定資産売却益	658	684
貸倒引当金戻入額	507	362
役員退職慰労引当金戻入額	1,618	—
その他	100	—
特別利益合計	2,884	1,046
特別損失		
固定資産売却損	232	—
固定資産除却損	74	2,973
減損損失	—	3,361
投資有価証券評価損	386	—
役員退職慰労金	260	1,499
たな卸資産廃棄損	1,760	—
特別損失合計	2,715	7,833
税金等調整前四半期純利益	218,923	329,269
法人税、住民税及び事業税	108,127	121,049
法人税等調整額	16,466	△11,384
法人税等合計	124,594	109,665
四半期純利益	94,328	219,604

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	218,923	329,269
減価償却費	58,691	120,675
減損損失	—	3,361
のれん償却額	36,081	37,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,043	67,693
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,263	2,194
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,833	△520
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21,273	4,110
受取利息及び受取配当金	△4,929	△4,149
支払利息	42,068	41,136
投資有価証券評価損益 (△は益)	386	—
固定資産売却損益 (△は益)	△425	△684
固定資産除却損	74	2,973
売上債権の増減額 (△は増加)	△342,489	△250,889
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,345	△40,515
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△4,114	65,983
その他の資産の増減額 (△は増加)	△286,588	△94,219
仕入債務の増減額 (△は減少)	403,811	322,480
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24,399	26,267
その他の負債の増減額 (△は減少)	226,161	△108,590
その他	1,125	801
小計	310,505	525,119
利息及び配当金の受取額	4,324	4,001
利息の支払額	△41,380	△41,523
法人税等の支払額	△122,156	△52,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,293	434,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,868	△41,910
有形固定資産の売却による収入	942	3,523
無形固定資産の取得による支出	△1,059	—
投資有価証券の取得による支出	△28,214	△9,601
投資有価証券の売却による収入	—	1,999
貸付けによる支出	—	△2,600
貸付金の回収による収入	2,926	2,230
定期預金の預入による支出	△399,870	△161,597
定期預金の払戻による収入	429,216	191,550
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	11,035
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	—	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,925	△5,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	520,000	△635,000
長期借入れによる収入	347,954	950,000
長期借入金の返済による支出	△723,904	△757,282
自己株式の取得による支出	—	△25,630
リース債務の返済による支出	△13,606	△68,969
配当金の支払額	△51,575	△51,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,867	△588,457

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	397
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	61,190	△158,393
現金及び現金同等物の期首残高	1,076,997	873,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,138,188	714,867

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の事業別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	自販機運営 リテイル事業 (千円)	飲料製造事業 (千円)	飲料カード システム事業 (千円)	不動産 運用事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	11,832,982	1,846,938	121,081	56,563	13,857,565	(-)	13,857,565
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	71,647	245,594	968	16,500	334,710	(334,710)	-
計	11,904,630	2,092,533	122,049	73,063	14,192,276	(334,710)	13,857,565
営業利益	335,892	13,554	13,080	42,629	405,157	(175,839)	229,317

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	自販機運営 リテイル事業 (千円)	飲料製造事業 (千円)	飲料カード システム事業 (千円)	不動産 運用事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	11,703,888	3,951,854	80,306	60,779	15,796,828	(-)	15,796,828
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,248	231,189	771	42,859	335,069	(335,069)	-
計	11,764,136	4,183,044	81,077	103,639	16,131,897	(335,069)	15,796,828
営業利益	266,642	163,010	15,871	57,079	502,603	(167,957)	334,646

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は製品・商品の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

事業区分	主要な製品・商品
自販機運営リテイル事業	カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売ほか
飲料製造事業	炭酸・コーヒー系缶飲料、清酒・焼酎・リキュールの製造・販売
飲料カードシステム事業	飲料自販機利用カードの販売・運営・管理ほか
不動産運用事業	不動産賃貸等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び 当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。